

こだま Q&A



Q62

百日咳菌抗体検査 (EIA 法) の結果は、どのように解釈したらよいのでしょうか。

A62

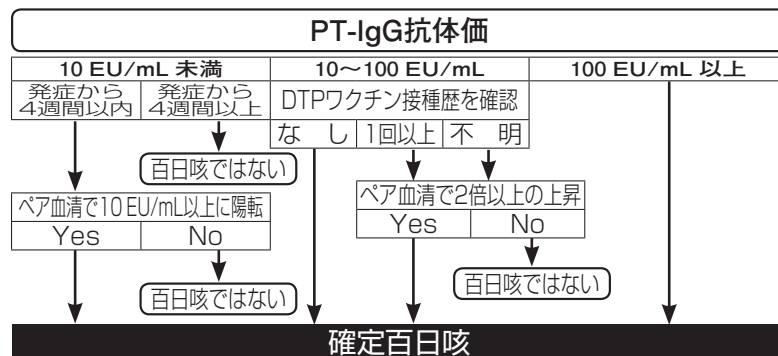
百日咳菌抗体検査 (EIA 法) は、百日咳菌から分泌される百日咳菌毒素 (PT 抗体) と菌体表面に存在し、接着因子の一つとして宿主への感染に関与する線維状赤血球凝集素 (FHA 抗体) のそれぞれに対する IgG 抗体を測定するものです。

発症後 4 週間経過すると PT 抗体、FHA 抗体共に 90% 以上で検出可能です。

ただし、FHA 抗体は、パラ百日咳菌など他の菌体にも存在し、交差反応が認められるなど、特異性に欠けるため診断には用いません。

したがって、百日咳菌に最も特異性が高い PT 抗体を、診断に用います。

▼百日咳抗体 (判定の仕方)



出典：『日本呼吸器学会 咳嗽に関するガイドライン第2版 2012.07』
35ページの図Ⅶ-10 百日咳診断のフローチャートの一部改変

お問合せ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)



きやつちボール

臨床検査センターへ全く畑違いの金融機関から出向して参りましたが、すでに3年近くが経過いたしました。組織、業務、文化の違いに戸惑うことも多いですが、役員の方をはじめ多くの現場の方々より興味深いお話を聞かせていただく中で、臨床検査センターと夜間急病センターは、広島の医療を陰で支える重要な役割を担っているということがよく分かりました。

私に何ができるのか分かりませんが、広島市医師会のために少しでも力になればと思っています。

矢野 太 (経営管理課課長)

広報委員

谷敷 圭美 / 亀石 猛 / 熊川 良則 / 田中 洋子 / 初岡 博 / 高磨 潤